

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)				区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E142E013		近代文学研究 (Studies in Modern Japanese Literature )															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 藤原 耕作  E-mail fujiwarakosaku@oita-u.ac.jp 内線 7533											
授業の概要	近代文学研究では、日本の近代文学作品の中から、実際に具体的な作品を取り上げ、文学作品の研究が実地でどのようになされるのかを講義する。それを通して、教材研究の実践力や応用力を養っていく。ここでは主に坂口安吾の昭和21年の作品を素材とする。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 日本の近代文学についての、やや高度な調査方法や研究手法を学ぶ。																	
目標2 課題やレポートによって学んだ研究手法を実践する。																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 はじめに 今期の予定																	
2 天皇小論																	
3 青年に想ふ																	
4 外套と青空																	
5 文芸時評																	
6 尾崎士郎氏へ(私信に代へて)																	
7 通俗作家 荷風																	
8 女体																	
9 欲望について																	
10 蟹の泡																	
11 我鬼																	
12 いづこへ																	
13 魔の退屈																	
14 戦争と一人の女																	
15 まとめ																	
ラーニング ポイント チェック ニ ン テ イ グ レ ブ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	課題によって知識の定着・確認をはかる。 講義後に毎回意見交換の時間をもうける。				工 夫 そ の 他 の											
時間外学修 の内容と時間 の目安	準備 学修 事後 学修	取り上げる作品を読み、疑問・感想・意見などを課題のプリントに記す。 取り上げる作品について、基礎的な調査をする。(20h) 講義を受講して、あらためて作品を読み直し、疑問・感想・意見などを課題のプリントに記す。(25h)															
教科書	プリントを配布する。																
参考書	講義時に適宜指示する。																
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10					
	課題	80%															
	意見交換	10%															
	レポート	10%															
注意事項	なし																
備考	なし																
リンク																	
	URL																